

毎月11日掲載

防災・減災のページ

巡回ワークショップ @ 石巻みづほ幼稚園・石巻みづほ第二幼稚園

むすび塾



幼稚園の備え

第三幼稚園の屋  
園児との交流は、

発生した方向に向きあ  
進出すたを促す

発生時間帯変え訓練を

必死の闘いで、

移動のしやすさを保  
て、その後、可能性もあ  
った避難場所を探手

訓練でもためめ  
災のため、園児  
は今年初めての  
震度5弱の経験がモ  
ラルは確立してい  
なかつた。活

受けつた多勢が、  
訓練では、保護者  
も参加し、避難

た。園とも無理に移動  
しなかつた。活動し  
た。活動時間には  
避難場所が変更され  
た。このとき、保護者も外部  
への避難の準備が事  
がった。

保護者の役割は、  
避難のルールを家  
庭でやること。加  
害訓練の経験が活  
用された。幼児は、中  
学年の時分からは、  
宮城県津波、17年  
年の経験が活か  
されてきた。園児が  
覚えていた。津波の  
原因に想いを  
とって、津波の  
発生は、保護者も  
参加し、避難



東日本大震災の経験を振り返り、今後、幼稚園でも災害対応のための幼稚園や家庭を取り組むことが重要だと話した。

被災体験隠さず発信

東北大災害科学国際研究所 安倍祥さん

大勢の幼い子どもを抱える幼稚園にとって、津波など自然災害時  
は少ない職員で危機を乗り切らな  
ければならない。震災では職員の  
チームワークが発揮されたが、保

護者や近所の住民にも避難訓練や  
防災対策を見えるようにし、意  
や筋力をもたせる関係が鍵とい  
う。幼稚園には今後、震災の記憶が

ない子どもが入園してくる。先  
生方は震災体験を隠さず、「園でこ  
んなことがあったんだよ」と伝  
えてもいいのではないかと。園を  
継いだ子ども、いざという時に思  
い出し生きる力につながる。



「避難で戻った店に携帯電話を  
持て行ったのは役立った。  
必要は必ずある。自分では、時間を  
取ることもない。自分の仕事に無  
くなってしまう。メモで返すのでし  
ておきました。」



「石巻みづほ幼稚園 木村博志さん」

むすび塾に参加して

石巻みづほ幼稚園・石巻みづほ第二幼稚園

「避難の体験」海が  
防げなかった津波は  
防げなかった。空を  
防いで行政無線が  
聞こえなかった。空  
を防いで行政無線が  
聞こえなかった。空  
を防いで行政無線が  
聞こえなかった。空



「参加して、小  
さいの経験が活か  
された。震災は  
どう起こるか分  
らない。でも、  
意識を持って  
準備はできた。



「参加して、(震  
撃)が伝わって  
いた。今日、園  
の経験が活か  
された。震災  
を知らない子  
どもも、機会  
をもらって何  
が起きたかを  
教えることも  
いいかなと  
思っています。



「避難の体験」  
海が防げな  
かった津波は  
防げなかった。  
空を防いで行政  
無線が聞こえ  
なかった。空を  
防いで行政無線  
が聞こえなかつ  
た。一緒に居て  
くれた。強かつ  
た。おれを  
助けてくれた。

